



危険場所への設置に関する情報

この付録には、危険場所への Cisco Catalyst IE9300 Rugged シリーズ スイッチの設置に関する情報が記載されています。

「Cisco Catalyst IE 9300 Rugged シリーズ スイッチの規制および準拠に関するドキュメント」も参照してください。

- [危険区域への設置警告 \(1 ページ\)](#)
- [North American Hazardous Location Approval \(3 ページ\)](#)
- [EU 内で設置される製品に関する EMC 環境条件 \(3 ページ\)](#)
- [防爆規格 \(4 ページ\)](#)

危険区域への設置警告

危険な環境にスイッチを設置する前に、このセクションの警告を読んで理解してください。



注意 この装置がクラス I、ディビジョン/ゾーン 2 の危険場所の環境に設置される場合、この装置は少なくとも IP54 の安全性が確認されているラックに設置する必要があります。



注意 スイッチ周囲のエアフローが妨げられないようにする必要があります。スイッチの過熱を防止するには、少なくとも次のスペースを設ける必要があります。

- 上下 : 1 RU (4.4 cm または 1.75 インチ)
- 側面: 1 RU
- 前面 : 1RU

さらに高密度な配置が必要な場合には、Cisco Technical Assistance Center (TAC) にお問い合わせください。



注意

この装置がクラス I、ディビジョン/ゾーン 2 の危険場所である環境に設置される場合。この装置は、IEC 60664-1 に従って汚染度 2 の環境に設置する必要があります)



注意

この機器はクラス I、ディビジョン 2、グループ A、B、C、D、または危険場所以外のみでの使用に適しています。



注意

爆発性雰囲気が存在する可能性のあるときは、SFP または SFP+ モジュールの取り付けおよび取り外しを行わないでください。



注意

爆発性雰囲気が存在する可能性のあるときは、電源の取り付け、および取り外しを行わないでください。



注意

爆発性雰囲気が存在する可能性のあるときは、USB コンソール サービス ポートを使用しないでください。



注意

爆発性のある環境が存在する可能性がある場合は、SD カードの取り付けまたは取り外しを行わないでください。



注意

爆発性雰囲気が存在する可能性のあるときは、USB タイプ A ホストポートを使用しないでください。



警告

ステートメント 1017 - 立ち入り制限区域

この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。熟練者、教育を受けた担当者、または資格保持者のみが立ち入り制限区域に入ることができます。



警告

ツイストペア銅線 (16 ~ 14 AWG または 1.31 ~ 2.08 mm²) を使用して、電源入力端子から高電圧 AC または DC 電源モジュールに接続します。低電圧 DC 電源モジュールの場合は 12-AWG または 3.31-mm² (最小) を使用します。電源接続には 90 °C (194 °F) 以上に対応する導線を使用



- (注) この機器は、適用される防爆規格で求められる爆発、火災、衝撃、死傷の危険性評価試験が UL によって実施済みです。UL 認定では、このカテゴリの対象になる機器の GPS ハードウェア、GPS オペレーティングソフトウェア、またはその他の GPS 関連機能の性能や信頼性は対象外です。したがって、UL は、このカテゴリの対象になる機器の GPS 関連機能の性能または信頼性に関して、いかなる表明、保証または認定も行いません。

North American Hazardous Location Approval

The following information applies when operating this equipment in hazardous locations:

English:	Products marked "Class I, Div 2, GP A, B, C, D" are suitable for use in Class I Division 2 Groups A, B, C, D, Hazardous Locations and nonhazardous locations only. Each product is supplied with markings on the rating nameplate indicating the hazardous location temperature code. When combining products within a system, the most adverse temperature code (lowest "T" number) may be used to help determine the overall temperature code of the system. Combinations of equipment in your system are subject to investigation by the local Authority Having Jurisdiction at the time of installation.
Français:	Informations sur l'utilisation de cet équipement en environnements dangereux: Les produits marqués "Class I, Div 2, GP A, B, C, D" ne conviennent qu'à une utilisation en environnements de Classe I Division 2 Groupes A, B, C, D dangereux et non dangereux. Chaque produit est livré avec des marquages sur sa plaque d'identification qui indiquent le code de température pour les environnements dangereux. Lorsque plusieurs produits sont combinés dans un système, le code de température le plus défavorable (code de température le plus faible) peut être utilisé pour déterminer le code de température global du système. Les combinaisons d'équipements dans le système sont sujettes à inspection par les autorités locales qualifiées au moment de l'installation.

EU 内で設置される製品に関する EMC 環境条件

このセクションの記載は、EU 内で設置される製品に適用されます。

この装置は、EMC に関する次の環境条件の下で動作するように作られています。

- ユーザの管理下にある別の定義された場所。
- 接地およびボンディングは ETS 300 253 または CCITT K27 の要件に従うものとします。
- AC 配電システムのタイプは、次のうち適用可能なもの1つとなっています：TN-S および TN-C (IEC 364-3 に定義)。

また、この装置を家庭環境で使用すると、干渉を引き起こす場合があります。

防爆規格

次の表に、防爆認証および証明に使用される規格を英語とフランス語で示します。

表 1: 防爆規格

The following standards were used for the hazardous locations approvals and certifications:	Les normes suivantes ont été appliquées pour les approbations et les certifications dans le cadre d'environnements dangereux :
UL 121201, Ed. 9	UL 121201, Éd. 9
CAN/CSA C22.2 No. 60079-0:19, 4th Edition, February 2019	CAN/CSA C22.2 No. 60079-0:19, 4e éd., février 2019
CAN/CSA C22.2 No. 60079-7:16	CAN/CSA C22.2 No. 60079-7:16
CSA C22.2 No. 213-Ed. 3	CSA C22.2 No. 213-Éd. 3
EN IEC 60079-0:2018	EN IEC 60079-0:2018
EN 60079-7: 2015+A1:2018	EN 60079-7: 2015+A1:2018
UL 60079-0 7th Edition, 2019-03-26	UL 60079-0, 7e éd., 2019-03-26
UL 60079-7, 5th Edition, 2017-02-24	UL 60079-7, 5e éd., 2017-02-24
UL 60079-15 5th Edition, 2020-04-07	UL 60079-15, 5e éd., 2020-04-07
CAN/CSA-C22.2 No 60079-15:18, November 2018	CAN/CSA-C22.2 No 60079-15:18, novembre 2018
EN IEC 60079-15: 2019	EN IEC 60079-15: 2019

次の表に、英語とフランス語の防爆表示文字列を示します。

表 2: 防爆表示文字列

The following hazardous locations strings are provided on the Cisco Catalyst IE9300 高耐久性シリーズ スイッチ:	Les marques d'homologation relatives aux environnements dangereux suivantes sont apposées sur le commutateur robuste Cisco Catalyst IE9300:
Class 1, Div 2, Groups A, B, C, D	Classe 1, Div 2, Groupes A, B, C, D
Class 1, Zone 2, Ex ec nC IIC T4 Gc X	Classe 1, Zone 2, Ex ec nC IIC T4 Gc X
CE II 3 G, Ex ec nC IIC T4 Gc	CE II 3 G, Ex ec nC IIC T4 Gc
UL 21 ATEX 2657X UL23UKEX2871X	UL 21 ATEX 2657X UL23UKEX2871X
Class 1, Zone 2, AEx ec nC IIC T4 Gc X	Classe 1, Zone 2, AEx ec nC IIC T4 Gc X

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。